

平成30年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択必修】学校をめぐる近年の状況の変化と危機管理上の課題

クラスCD	ロ-201	開講日	8月5日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	40名

講習科目名	学校をめぐる近年の状況の変化と危機管理上の課題	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	照屋 翔大 (てるや しょうた) 加藤 崇英 (かとう たかひで)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校をめぐる近年の状況の変化について様々な統計データ等を基に概観し、そのような変化が学校の在り方に及ぼす影響について検討する。 ・子どもの問題・課題が複雑化・多様化することに伴って拡大する学校危機管理についての視点と課題について明らかにする。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの抱える課題が複雑化・多様化している背景を踏まえ、学校をめぐる状況の変化とその課題について理解できる。 ・学校における危機管理の対象や範囲を踏まえて、視点と課題を理解できる。 		
受講者への事前連絡事項	本講習内容に関連したご自身の学校についての資料等を、ご負担の少ない範囲でご持参いただければ幸いです。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】学習指導要領の改訂の動向等

クラスCD	ロ-202	開講日	8月5日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名

講習科目名	学習指導要領の改訂の動向等	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	佐藤 環 (さとう たまき)	所属	教育学部
主な受講対象者	幼・小・中・高教諭	担当時間	6時間
講習内容	現在行われている教育改革や義務教育多様化の潮流などを踏まえて、学習指導要領及び幼稚園教育要領改訂の特徴を明らかにして今後の学校教育課程について考察する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育改革や義務教育多様化の潮流などを踏まえ、現在学校教育の動向を考察できる。 ・学習指導要領の改訂の意義について理解できる。 		
受講者への 事前連絡事項	特記事項なし。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】法令改正・審議会等の状況と「チーム学校」による組織的対応の考え方

クラスCD	ロ-203	開講日	8月5日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	40名

講習科目名	法令改正・審議会等の状況と「チーム学校」による組織的対応の考え方	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	加藤 崇英 (かとう たかひで) 照屋 翔大 (てるや しょうた)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の内容に関わるものから、学校組織や教育行政・教育委員会に関わるものまで、とりわけ2000年代以降の法令改正及び国の審議会の状況等を中心にその展開を明らかにする。 ・近年の改革の中で直面する諸課題に対して「チーム学校」として対応する上での考え方と在り方について検討する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の教育関連の法令改正及び国の審議会の状況等の流れについて理解できる。 ・学校が組織として対応することが求められる背景と、「チーム学校」として対応していく視点と課題について理解できる。 		
受講者への事前連絡事項	近年の法令改正や審議会の状況等で分からないことや知りたいことなどを、事前にお考えいただければ幸いです。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】教科横断的な視点からの教育活動の改善を支える教育課程の編成、実施、評価及び改善の一連の取組

クラスCD	ロ-204	開講日	8月5日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	40名
講習科目名	教科横断的な視点からの教育活動の改善を支える教育課程の編成、実施、評価及び改善の一連の取組	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	坂場 克身 (さかば かつみ)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	小・中教諭	担当時間	6時間
講習内容	<p>新学習指導要領で示された育成すべき資質・能力の3つの柱を育成するため、全ての教職員によるカリキュラム・マネジメントの充実が求められている。社会に開かれた教育課程及び教科横断的な視点から、カリキュラム・マネジメントについての理論と学校現場での具体的な取組について検討する。</p> <p>(1) 社会に開かれた教育課程とは何か (2) 教育課程とカリキュラムについて (3) 校務分掌のそれぞれの立場(教務主任・教科主任・担任等)から見たカリキュラム・マネジメントとは (4) 教科横断的な視点からのカリキュラム・マネジメントの理論 (5) 教育目標の具現化を目指した教科横断的な視点からのカリキュラムマネジメントについての実践 (6) 認定試験: 講義した内容の確認</p>		
到達目標	<p>(1) 社会に開かれた教育課程や教科横断的な視点からのカリキュラム・マネジメントについての内容やその必要性について理解する。 (2) 具体的なカリキュラム・マネジメントの方法について理解する。</p>		
受講者への事前連絡事項	各自学校グランドデザインを持参してください。適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】学習指導要領等に基づき育成すべき資質及び能力を育むための習得、活用及び探究の学習過程を見通した指導法の工夫及び改善

クラスCD	ロ-205	開講日	8月5日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名

講習科目名	主体的・対話的で深い学び	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	藤田 達人 (ふじた たつんど)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	小・中教諭	担当時間	3時間
講習内容	小・中学校の新学習指導要領に基づいて「アクティブ・ラーニングとは何か」、「なぜ今アクティブ・ラーニングなのか」といった意味や背景などの概要を理解し、主体的・対話的で深い学びを実現するための校内研修や授業づくりにどう取り組んでいくかについて考察する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの時代に求められる育成すべき資質・能力について理解することができる。 ・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の取り組み方について考察することができる。 		
受講者への事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名	対話のある授業をつくる	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	藤井 とし子 (ふじい としこ)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	小・中教諭	担当時間	3時間
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善が求められている。形式的な話し合いや体験活動の導入ではなく、自分らしさを発揮できる学習環境を調べ、問い続けたい事象と出会わせていくことが大切である。そこで、この講習では、誰もが安心して学習に参加できる環境づくりと子供がかかわりながら学びたい授業づくりはどうあるべきかについて学ぶ。さらに、授業実践例を基に、具体的な授業改善のポイントについて考察する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実質化するための考え方を習得する。 ・学びの質を高めるための授業改善に向けて具体的な視点をもつ。 		
受講者への事前連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の総則を一読しておいてください。 		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講義で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】教育相談2

クラスCD	ロ-206	開講日	8月5日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	55名

講習科目名	教育相談の基礎	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	丸山 広人 (まるやま ひろと)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>さまざまな不応問題(不登校・いじめ・発達障害を中心とする)を対象にして講義する。まずはこれらの問題を予防する観点から講義を始め、その後、それぞれの問題に対する基本的な理解と対応について事例を交えながら考えていく。様々な学校種が入り交じったグループで事例を考えていく演習も取り入れた内容となる。</p>		
到達目標	<p>不応問題(不登校・いじめ・発達障害)における課題と対応の基本について理解することができる。</p>		
受講者への事前連絡事項	<p>特になし</p>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】学校、家庭及び地域の連携及び協働

クラスCD	ロ-207	開講日	8月5日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	35名

講習科目名	学社連携・学社融合論とその教育実践	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	望月 厚志 (もちづき あつし) 青柳 路子 (あおやぎ みちこ)	所属	教育学部 大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>現代社会の教育目標は「学習社会」を構築することにある。そのためには、生涯学習の考え方に基づいた教育活動が行われる必要がある。その教育活動・実践の一つが学校教育と社会(教育)との連携である。本講習では、学校と社会との間の連携をいかにしてはかるのかという問題について、最新の状況を含めて考察する。</p> <p>1) 学校教育と社会(教育)との関係の理論的理解と課題。(講義) 2) コミュニティスクールの役割と課題。(講義) 3) 従前の学校外活動の実践例と事例検討。(講義・演習・グループワーク) 4) 学校教育と社会との連携協力の課題。(講義)</p>		
到達目標	<p>1) 「学社連携・学社融合」(学校教育と社会との関係)の理論について理解する。 2) 従前の学校外活動の実践例の事例検討をもとに、各自の教育実践を再考する。 3) コミュニティスクールの役割と課題について理解する。</p>		
受講者への事前連絡事項	資料及び映像資料を用いて講義・演習・グループワークを行う。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】道徳教育

※この講習を受講する方はハ-114、ハ-220、ハ-306を受講することができません。

クラスCD	ロ-208	開講日	8月5日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	65名

講習科目名	道徳教育の今日的課題と実践	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	生越 達 (おごせ とおる)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>道徳教育に焦点を当て、その今日的意義や実践の充実を図るための内容・方法等について検討する。今日の児童・生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、道徳教育のもつ役割を理解するとともに、道徳教育の実践をより充実したものとするための実践上の課題、学校組織全体として道徳教育の実践の充実を図る上で求められる点等について検討する。</p> <p>(1)道徳教育の今日的意義と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における人間形成の在り方と課題 ・道徳教育の今日的意義と課題 <p>(2)道徳教育の実践の充実に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の改訂と道徳教育 ・道徳教育の実践の充実と他の教育活動との関連 ・学校全体での運営・実施体制の充実 		
到達目標	<p>(1)子どもたちの規範意識や学ぶ意欲の低下、さまざまな問題行動の背景にある社会の問題を理解する。</p> <p>(2)現代社会を生きる子どもたちにどのような道徳教育を行っていくことが必要なのかを理解する。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】英語教育

クラスCD	ロ-209	開講日	8月5日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	60名

講習科目名AM	英語帯活動の指導	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	小林 翔 (こばやし しょう)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(英語)	担当時間	3時間
講習内容	1) 中高での帯活動に関する講習(90分) 2) 中高での帯活動のアイデアの共有(60分) 3) 代表グループによる発表(10分) 4) 確認試験(20分) *本講習は日本語も使用します*時間は目安です		
到達目標	1) 帯活動指導に関して理解する。 2) 帯活動指導を計画する。		
受講者への事前連絡事項	帯活動指導について行ったことがある人は(教材などを用いて)経験を説明できるようにしておいてください		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名PM	英語ディスカッション指導	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	齋藤 英敏 (さいとう ひでとし)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(英語)	担当時間	3時間
講習内容	1) 中高での英語ディスカッションに関する講習(90分) 2) 中高での英語ディスカッションのアイデアの共有(60分) 3) 代表グループによる発表(10分) 4) 確認試験(20分) *本講習は日本語も使用します*時間は目安です		
到達目標	1) ディスカッション指導に関して理解する。 2) ディスカッション指導を計画する。		
受講者への事前連絡事項	ディスカッション指導について行ったことがある人は(教材などを用いて)経験を説明できるようにしておいてください		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】教育の情報化2

クラスCD	ロ-210	開講日	8月5日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	35名

講習科目名	教育の情報化Ⅱ	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	本田 敏明 (ほんだ としあき)	所属	教育学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>学校教育における教育の情報化のこれからの課題について、文科省「教育の情報化に関する手引」の内容を基に講義し、また、授業で役立つ情報教育やICTを利用した授業の内容と方法について、実習を交えて検討する。</p>		
到達目標	<p>1)情報化社会における学校教育の変化と課題を情報教育の視点から理解すること。 2)新しい情報技術を利用した教育(授業)を構想し、指導する力量を培うことができる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>パソコンによるワープロ、インターネットの使用経験があること。</p>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。